

今年もあと残りわずかになりました。お世話なり、時にはヘマをしながらも、促進員情報にお付き合い頂き本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

さて、下記は医師が選ぶ10大ニュースがありました。社会における10大ニュースは？ 個々における10大ニュースは？ そう皆さんはいかがでしょう。

自分のことを考えますと、それほどはないですが、やはり一番は、普通に仕事も生活も日々過ごせたことがラッキーということ、海外に行けたこと、中学のクラス会参加、骨折もコロナもなく定期通院のみで病気なし、ようやく産業看護職の仲間が来てくれたことかな。そうそう、中部ブロック会議に参加、産業保健専門職の皆さんと交流ができたことは嬉しく良かったです。じっくり考えるとあれもこれもと思い出す、365日は長いわけですが、あっという間の1年でもあります。新たな年を、良いお年にしていきたいと思います。

新年のスケジュール表を添付いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。(菅野)

●医師が選んだ2023年十大ニュース～m3.com編集部は毎年恒例の年末アンケートより

順位	医師が選ぶ2023年十大ニュース	全体 (n=5817)	開業医 (n=968)	勤務医 (n=4849)
1	新型コロナウイルス感染症「5類」に	3913	637	3276
2	ススキノで遺体切断事件、医師ら親子3人逮捕	2812	445	2367
3	医科歯科大と東工大、統合後は「東京科学大学」に	2656	410	2246
4	マスク着用、屋内外問わず自己判断に	2489	441	2048
5	改正マイナンバー法が成立、保険証廃止へ	2368	524	1844
6	28歳の女性外科医が宇宙飛行士候補に、JAXA	2003	249	1754
7	アルツハイマー新薬「レカネマブ」承認	1970	283	1687
8	鎮咳薬・去痰薬など品薄に	1910	459	1451
9	Chat-GPTが医師国試で合格点、医療界でAI活用広がる	1833	205	1628
10	マイナ保険証の紐付けミス発覚、政府が総点検へ	1813	406	1407

## 目次

- 1 「キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会報告書」を公表します
- 2 第3回 健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会 資料
- 3 朝日新聞の「折々のことば」 鷺田清一 2023.12.24
- 4 関連情報

- 1 「キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会報告書」を公表します  
～キャリアコンサルタントがその役割を果たしていくために～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=k3UHj59f83F5BfoBY>

厚生労働省では、この報告書を踏まえ、キャリアコンサルタント登録制度や関連施策の運用改善などを行い、労働者などのキャリア形成支援を一層推進していきます。

## 【報告書のポイント】

### キャリアコンサルタントを取り巻く現状

- ・ リ・スキリングの選択、キャリアアップや転職に係る相談支援などに関するキャリアコンサルタントの役割に対する期待が高まっている
- ・ 一方、キャリアコンサルティングを利用する労働者や従業員にキャリアコンサルティングを行う仕組みを導入する企業はまだ少ない

### キャリアコンサルタントの能力向上、活動促進のために

- ・ 講習の内容のアップデートの徹底
- ・ 受講者へのフォローや内容が適切であることを前提に、オンラインでの講習の普及を踏まえ、更新時の知識講習の定員上限（30人）の撤廃
- ・ 必要な科目の技能講習が提供され、受講者が適切に選択できるよう支援
- ・ スーパービジョンの機会の拡充、スーパーバイザーの養成

### キャリアコンサルティングの普及促進のために

- ・ キャリアコンサルティングの効果について周知
- ・ 気軽にキャリアコンサルティングを利用できる相談窓口の整備
- ・ 企業におけるキャリアコンサルティングの促進

### 今後の検討課題

- ・ 能力要件・能力体系の見直し（領域等に応じた専門的な知識・技能の整理）
- ・ 更新要件の見直し（スーパービジョンや実務の位置づけ等）

[【別添1】 キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会報告書（概要） \[343KB\]](#)

[【別添2】 キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会報告書 \[712KB\]](#)

#### <一部抜粋>

キャリアコンサルティングに関連する活動を行っている者は70.3%、活動していない者が29.7%であり、前回（平成29年度：20.2%）と比べて活動していない理由についてさらに調べると「関連のない組織・部署に所属」（53.4%）、「関連する仕事（ニーズ）がない」（34.7%）、「他の仕事などで忙しく、自分自身に時間的余裕がない」（18.2%）、「所属する組織（企業等）がキャリアコンサルティングに熱心ではない」（17.0%）、「自分自身のスキル・知識に自信がない」（16.7%）などとなっている。活動していない者のうち、約7割が活動開始（再開）を望んでいる（「ぜひ開始（再開）したい」（37.7%）、「できれば開始（再開）したい」（31.7%））。また、同じく活動していない者のうち、次回の更新について「更新する予定」と回答した者が75.5%を占め、次いで「分からない」と回答した者が18.2%、「更新しない予定」と回答した者が5.7%となっている。

## 2 第3回 健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会 資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=l3EYPcZ-VcbbVr8FY>

#### <一部抜粋>

「健康づくりのための睡眠指針 2014」との大きな違いは、「21世紀における第三次国 健康づくり運動（「健康日本 21（第三次）」において目標として掲げられた適正な睡眠時間

と睡眠休養感の確保に向けた推奨事項を「成人」「こども」「高齢者」と年代別にとりまとめた点である。また、良い睡眠には、光・温度・音等の環境因子、食生活・運動等の生活習慣、睡眠に影響を与える嗜好品との付き合い方も重要であるため、科学的知見を踏まえ、これらについて留意が必要な点を参考情報としてとりまとめた。さらに、睡眠に関連する症状には、「睡眠障害」に起因するものがあるため、「睡眠障害」についても概説するとともに、女性の健康という観点から、女性ホルモンの変動が睡眠に及ぼす影響や、現代社会の維持に不可欠な勤務形態の一つである交替制勤務における睡眠の不調等の健康リスクや生活習慣等において工夫できる点も含め整理した。

【資料】

[01. 【議事次第】 第3回健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会 議事次第](#)

[\[PDF形式：42KB\]](#)

[02. 【構成員名簿】 第3回健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会 \[PDF形式：82KB\]](#)

[\[PDF形式：82KB\]](#)

[03. 【座席表】 第3回健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会 \[PDF形式：120KB\]](#)

[\[PDF形式：120KB\]](#)

[04. 【資料1】 健康づくりのための睡眠ガイド 2023（案） \[PDF形式：4.7MB\]](#)

[05. 【参考資料1】 健康づくりのための睡眠指針 2014 \[PDF形式：1022KB\]](#)

**3 朝日新聞の「折々のことば」 鷲田清一 2023.12.24 に思うこと….**

**叱咤や批判で変わる人はいない 齋藤環(たまき)**

“患者と家族が変わるかは、周囲の判断の「正しさ」とほとんど関係がないと精神科医は言う。医療チームとオープンに対話する中で、患者と家族がいろんな意見を自分たちについて「噂」（うわさ）として聞けることが、自主的な選択に必要な「余白」となる。それは「断る余地」のある依頼のほうを受け容（い）れやすいのと同じだと。『オープンダイアログがひらく精神医療』から”

\*オープンダイアログを実際に受けている、経験しているいま、折々のことばを読んで、まさにそうだなあと紹介したくなりました。

診察等で、医師等に患者当事者や家族の話がどう伝わっているのか、響いているのか普通はなかなかわかりにくいものです。このオープンダイアログのやり方では、この医療チームの本音というか、感じていることや気になることを素直に語って頂くことで、それを聴いていると「そうなんだ〜」「そのことはこういうことね」。いろいろな思い・考えが巡りまわって、その思いや事柄を、また伝え返すことになり、さらに内容が深まっていくこととなります。医師对患者のように1対1ではなく、医療チームの関わり、1対3あるいは2〜3対3〜4になるなど、双方の数が増えてもOK。見方・考え方がとても広がってきます。家族等は、特にネガティブに、悩むことばかりだから、医療チームのポジティブ視点に触れることにもなり、癒されることがままあります。また、次第に見えてくるもの

があり、気づきにつながりますね。病気に対しての諦めがなくなり、受け入れて頑張ろうとする思いや行動するエネルギーの維持につながっているようにも思います。(菅野)

#### 4 関連情報

▼厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 人事労務マガジン 特集第 216 号

「年収の壁」対策として労働者 1 人につき最大 50 万 円を事業主に助成します

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E\\_WHDx\\_fc\\_H5hVqBY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_WHDx_fc_H5hVqBY)

(2) 令和 4 年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zVHz98fszE5RbdBY>

(3) 不安や悩みを抱える方への年末年始の相談について

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=kXcFjZ1d8XN7B\\_QDY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=kXcFjZ1d8XN7B_QDY)

(4) 貨物軽自動車運送事業の自動車運転者に係る労働者性の判断事例について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3Uaz5myi8NXbT0BY>

(5) 「人口減少社会への対応と人手不足の下での企業の人材確保に向けて」資料を掲載  
～人材不足解消のカギは仕事と子育ての両立支援

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zVHz98fszE5RY9BY>

(資料) 事業主の仕事と育児の両立支援に関する意識改革に資する周知用資料 (12 月 22 日差し替え) [2.1MB]

今般、本省で事業主の仕事と育児の両立支援に関する意識改革に資する周知用資料を作成しましたので、職場環境の改善に向けた周知啓発を進めていただく際に活用いただきますようお願いいたします

(6) 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状（いわゆる後遺症）について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00402.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00402.html)

(7) 新型コロナウイルス感染症に感染された方へ

症状が長引く ことがあることを知っていますか (罹患後症状) チラシ

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001159544.pdf>

(8) 令和 5 年労働組合基礎調査の概況

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=l3EZVmyqJvRCWSsFY>

○報道発表用資料 [176KB]

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/roushi/kiso/23/dl/houdou.pdf>

◇ | 保健指導リソースガイド | メールマガジン から

- (1) 「糖質制限ダイエット」と「脂質制限ダイエット」のどちらが向いているかを予測  
1人ひとりに合わせた指導を実現 モデルを開発

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/13y4e7sx48ab/cntht64v/>

- (2) 「食育健康サミット 2023」を無料配信 ライフステージにそった保健指導  
日本型食生活で支える 日本医師会など2月28日まで

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/mtdq37akhto2/cntht64v/>

◇ イベント情報：ネクストリボン がんと共生社会を目指して

<https://www.asahi.com/ads/nextribbon/event/>

主 催 者：公益財団法人 日本対がん協会、株式会社朝日新聞社

開催日時：2024年1月17日（木）

会 場：浜離宮朝日ホール

（〒104-8011 東京都中央区築地5丁目3-2 朝日新聞東京本社 新館 2F）

<https://www.asahi.com/ads/nextribbon/event/>

- 1部 シンポジウム「増える就労世代のがん、企業、社会はどう対応すべきか」

13:00～16:10

- 2部 トークイベント「がんとともに生きる、寄り添う」18:30～19:55

\*1部、2部総入れ替え制、定員200名（先着順）

\*会場参加申し込み締め切り 1月12日（金）18:00

**オンライン配信** ・2024年1月12日（金）までにオンライン視聴をお申し込み

・2024年2月4日（日）13:00～配信。3月4日（月）20:00まで何度でもご覧頂ける

◇ J I L P T から

- (1) 「人手不足相談窓口」を開設／中小企業基盤整備機構

中小企業基盤整備機構は21日、2024年1月より全国9ヶ所の地域本部およびオンラインで「人手不足相談窓口」を開設すると発表した。併せて発表した「人手不足に関する中小企業・小規模事業者の意識調査（11月実施）」結果によると、3割強が人手不足の状況を深刻と捉え、6割強が重要または将来的な課題と認識。特に建設業やその他サービス業、飲食・宿泊業で深刻度が高い傾向。人材確保対策への取組は、シニアの活用は進んでいるものの、副業人材・外国人・障害者の活用は進んでいない。業務効率化、職場環境整備等については、「行っていない／予定なし」の回答が30%から50%あり、理由としてコストやノウハウ不足があがっている。これら調査結果や、中小企業からの支援ニーズ（人手不足に関する相談窓口の開設、補助金制度、情報提供等）に対応するよう、同機構は人手不足に関する支援体制を順次強化していくとしている。

[https://www.smrj.go.jp/org/info/press/2023/bkmqel000000c6n2-att/20231221\\_press01.pdf](https://www.smrj.go.jp/org/info/press/2023/bkmqel000000c6n2-att/20231221_press01.pdf)

(2) 労災の死亡者数 6.0%減、休業 4 日以上死傷者数 2.5%増／厚生労働省

厚生労働省は 18 日、2023 年の労働災害発生状況（12 月速報値）を公表した。死亡災害は、死亡者数が 609 人で前年同期比 6.0%減少。業種別では、建設業 27.7%減、林業 0.7%減、陸上貨物運送事業 28.6%増など。休業 4 日以上の死傷者数は、11 万 780 人で同 2.5%増加。業種別では、第三次産業 4.6%増、製造業 1.7%増、陸上貨物運送事業 1.8%減など。なお、公表された数値は、新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害を除いたもの。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/rousai-hassei/dl/23-12.pdf>

▽統計表

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/rousai-hassei/index.html>

◇ ◆【From\_M】から 情報提供有難うございます

◆新型コロナウイルス感染症の「罹患後症状（いわゆる後遺症）」に悩む方の治療と仕事の両立に向けたご案内

<https://jsite.mhlw.go.jp/akita-roudoukyoku/content/contents/001663752.pdf>

Q：治療と仕事の両立支援の進め方についてどこに相談すればいいのでしょうか

A：都道府県産業保健総合支援センターにご相談ください。

◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染後の採血制限について

<https://www.mhlw.go.jp/content/11127000/001168587.pdf>

○【医薬局血液対策課 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法（昭和 31 年法律第 160 号）関係】

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T231218I0030.pdf>

◆一般社団法人 日本経済団体連合会 / Keidanren

○経団連：仕事と育児との両立支援 事例集（2023-12-21）

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/086.html>

仕事と育児との両立支援 事例集—男性の家事・育児の促進に向けて—

[https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/086\\_jirei.pdf](https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/086_jirei.pdf)

（ご参考）

「男性の家事・育児に関するアンケート調査結果」（2023 年 6 月 5 日）

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/040.pdf>

「仕事と家事・育児の両立に向けた取組み推進のお願い」（2023 年 6 月 5 日）

<https://www.keidanren.or.jp/announce/2023/0605.html>

○過重労働防止対策セミナーを開催（2023 年 12 月 21 日 No.3618）| 週刊経団連タイムス

[https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2023/1221\\_11.html](https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2023/1221_11.html)

○雇用保険制度を含む職業安定行政の現状と今後の課題（2023 年 12 月 21 日 No.3618）|

週刊 経団連タイムス

[https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2023/1221\\_09.html](https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2023/1221_09.html)

◆第 33 回 日本産業衛生学会 全国協議会「多様化する社会と産業保健」レポート#1

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/article/2023/012723.php>

◆第 33 回 日本産業衛生学会 全国協議会「多様化する社会と産業保健」レポート#2

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/article/2023/012727.php>

◆第 1 回労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会議事録

令和 5 年 12 月 5 日（火）18：00～ 労働基準局安全衛生部労働衛生課

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_36999.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36999.html)

次回の検討会の日程は、来年 1 月 25 日 10 時から

◆「東京都がん対策推進計画（第三次改定）」骨子案

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/research/taisaku/taisaku\\_kyougikai/taisaku\\_kyougikai/11syuurou.files/06keikakukossiann.pdf](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/research/taisaku/taisaku_kyougikai/taisaku_kyougikai/11syuurou.files/06keikakukossiann.pdf)

◆第 10 回就労支援ワーキンググループ 会議でいただいた主なご意見等

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/research/taisaku/taisaku\\_kyougikai/taisaku\\_kyougikai/11syuurou.files/04goikenn.pdf](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/research/taisaku/taisaku_kyougikai/taisaku_kyougikai/11syuurou.files/04goikenn.pdf)

◆うつ病の人が転職・再就職を考える時に大事なポイント

[https://works.litalico.jp/column/mental\\_disorder/027/](https://works.litalico.jp/column/mental_disorder/027/)

LITALICO ワークスが就労移行支援、就労定着支援、相談支援の 3 つのサービスを提供する中で蓄積してきた「障害と仕事」に関する情報をお届けします。

◆うつ病で休職するには？診断書、給料や手当、過ごし方

[https://works.litalico.jp/column/mental\\_disorder/020/](https://works.litalico.jp/column/mental_disorder/020/)

◆〔女性外来を訪ねて〕

中部ろうさい病院女性総合外来（名古屋市）。あらゆる症状を受け止めて解決へ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/49fde3add9949d029e7b27ae45c86eb3736b05c9>

◆障害者職業総合センター NIVR

「第 31 回職業リハビリテーション研究・実践発表会」を開催しました。

○<<動画・資料>>

「第 31 回職業リハビリテーション研究・実践発表会」の動画等を掲載しました。

<https://www.nivr.jeed.go.jp/vr/31kaisai.html>

目的

職業リハビリテーション研究・実践発表会は、職業リハビリテーションに関する調査研究や実践経験の成果等を広く周知するとともに、参加者関係者相互の意見交換、経験交流等を行うことで、職業リハビリテーションに関する調査研究、実践及び障害者の雇用・就業支援技法等の質的向上を図り、障害者の雇用促進に資することを目的に開催します。

◆◀動画・資料▶

『医療機関における治療と仕事の両立支援 初めてお仕事の話を聞く時のポイント』  
解説動画のご案内について（独立行政法人労働者健康安全機構）  
公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

[https://www.jaswhs.or.jp/news/news\\_detail.php?@DB\\_ID@=1618](https://www.jaswhs.or.jp/news/news_detail.php?@DB_ID@=1618)

<https://www.youtube.com/watch?v=rjwGJ1EsDLw>

独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院治療就労両立支援センターでは、予防医療モデルの研究調査の結果をもとに、治療と仕事の両立支援の初期段階についての冊子を作成されています。この度、初回面談を中心とした支援のポイントおよびセリフをまとめた冊子に関する解説動画を作成されました。冊子に併せてご活用ください。

○配布資料ダウンロード

[https://www.jaswhs.or.jp/images/NewsPDF/NewsPDF\\_LrTuPi5U3JNRwD1p\\_1.pdf](https://www.jaswhs.or.jp/images/NewsPDF/NewsPDF_LrTuPi5U3JNRwD1p_1.pdf)

◆つわりの原因、やっと解明 女性の問題「軽んじられてきた」と研究者

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a500c1fd10c243a83bef7303373f8d5bd8161086>

妊娠中、多くの女性が吐き気などを経験する「つわり」に、特定のホルモンの増加が関係することを、米国や英国などの国際研究チームが明らかにした。論文が英科学誌ネイチャーに掲載された

◆市販薬の2類と3類を統合へ 薬剤師らの説明、医薬品は必要に

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1673e216b80c43b489f6653c957747109d97feab>

薬局などで購入できる一般用医薬品（市販薬）の副作用のリスクに応じた分類について、厚生労働省の有識者検討会は18日、現行の「第2類」と「第3類」を統合する案をおおむね了承した。現行法で第3類とされている市販薬は統合により、販売時に薬剤師らによる使い方や副作用の説明が新たに必要になる。2025年以降の医薬品医療機器法（薬機法）の改正を目指す

小野田 富貴子（両立支援担当）

[fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp](mailto:fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp)

中山 篤（メンタルヘルス担当）

[atsui78natsu@gmail.com](mailto:atsui78natsu@gmail.com)

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

[yukikan28@gmail.com](mailto:yukikan28@gmail.com)